



校長室だより 2月

2021(令和3)年2月1日

大阪市立堀江小学校

校長 藤原 和彦



おに 鬼はどこにいる？

あっと言う間に2月になりました。まだまだ寒い毎日が続きますが、明日の「節分」を過ぎると「立春」を迎え、暦の上では春(新しい年)がやってきます。節分と言えば2月3日のイメージですが、暦のズレで、今年は124年ぶりに2月2日なのだそうですね。

もともと春夏秋冬それぞれの季節の変わり目を節分と言いますが、今では立春前の節分だけが残っています。そして、節分には様々な行事が行われています。中でも「鬼は外、福は内」の豆まきは古くから伝わる行事です。これは、季節の変わり目には邪気や災いが入りやすいので、新しい年に向けてそれらを払うために豆をまく行事が、今に残ったものだと言われています。

ところで、豆まきで退治する鬼は、いったいどこから来るのでしょうか。今、大流行の鬼滅の刃では、人間が鬼になってしまいますが、考えると、鬼は外ではなく、ひょっとして自分の中にいるのではないかと思える時があります。例えば、自分勝手な「わがまま鬼」。周りの人のことを考えないで行動してしまう時は、この鬼が顔を出しているのかも知れません。他にも、やる気が出せない「サボリ鬼」、人を裏切る「ウソつき鬼」、がまんができない「気みじか鬼」、その場逃れの「言いわけ鬼」、自信が持てない「弱気鬼」、すぐに手が出る「あばれん坊鬼」、人をうらやむ「ねたみ鬼」などなど…。こうした鬼は、実は誰の心にも住みついていて、普段は眠っているのだけれど、何かの拍子にひょっこり現れるのかも知れません。

しかし、いくらたくさん豆をまいても、残念ながらこの鬼は逃げてはくれません。ではどうすればこれらの鬼を追い払う事ができるのでしょうか。それには、自分の心の中に、どんな鬼がいるのかを知ること、そして、出てきた鬼を追い出すような強い心を持つ事が必要です。つまり、自分としっかり向き合う事が大事なのです。その鬼に勝とうとする気持ちだけが、唯一鬼を退治できるのではないかでしょうか。

さて、みなさんの中には、どんな鬼が住んでいますか？

※今月号は子ども向けにふりがなをつけています。

